世界の国を知る 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

サントメ・プリンシペ民主共和国

【表紙の写真】

リゾート地としてのサントメ島は最高で、ヨーロッパから近距離であることや風光明媚なため、欧州を中心に海外から多くの観光客が訪れています。

蟹江正文

Contents

01 こんな想いを込めました!
02 こんな教材です!
03 なぜサントメ・プリンシペ民主共和国?

第 1 章 サントメ・プリンシペってどんな国？
＝悲しい歴史を持つ、風光明媚なリゾート地＝

05 クイズ70人に聞きました。
07 サントメ・プリンシペってどんな国?
09 サントメ・プリンシペ クイズ
11 ちょっとブレイク ～サントメ・プリンシペの切手～

第 2 章 へぇ～！サントメ・プリンシペと日本

13 蘭ラン交流 さて、どうする?
15 数字で比べてみよう! サントメ・プリンシペと日本

第 3 章 一緒に考えよう！こんな課題

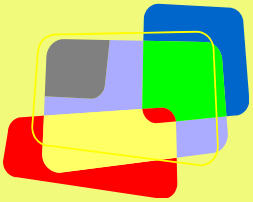
19 サントメ・プリンシペとカカオ
21 参考資料 ～チョコレートの真実～
23 サントメ・プリンシペの歴史と奴隷貿易
25 参考資料 ～奴隷貿易～

第 4 章 そして未来へ

27 世界を変えるスピーチ
29 この星をこれ以上こわし続けないで
～12歳の少女が地球サミットで語った伝説のスピーチ～

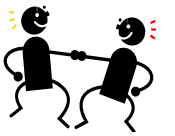
★参考資料★

33 目で見るサントメ・プリンシペ
35 サントメ・プリンシペ地図
37 参考文献・データ等の出典
37 ご協力いただいた方たち
37 2009年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」はけっして難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

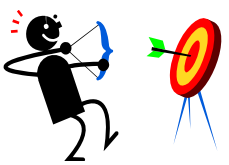
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることももちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へぇ〜。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。 そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさんの問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係がつくれたらいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。 地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起こっていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起こっていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえるようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしていただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、サントメ・プリンシペのほんの一面です。本書だけでサントメ・プリンシペのすべてがわかるわけではありません。サントメ・プリンシペに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせてどんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。 なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。

- 参加型のプログラムです。必要に応じてコピーし、配布してください。
- プログラムに関する説明です。ファシリテーター・先生用です。
- プログラムのねらいです。
- ちょっとブレイク一口コラムです。
- プログラムに使う資料です。必要に応じてコピーし配布してください。
- コピーし、カード等に切り離して使ってください。
- プログラムで模造紙を使います。
- プログラムでマジックを使います。
- プログラムで付箋を使います。
- プログラムでA4用紙を使います。裏紙等を活用してください。
- データ等の出典です。
- 写真の撮影者です。

なぜサントメ・プリンシペ民主共和国？

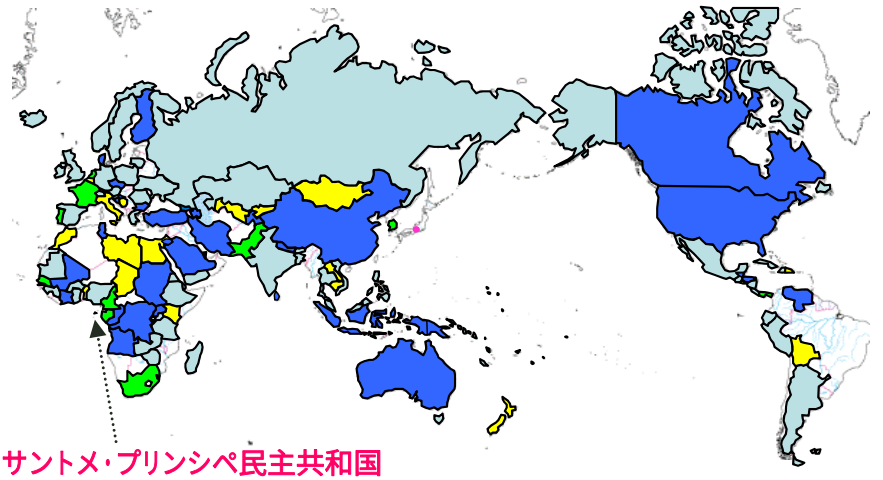
始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

●世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
●迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
●万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
●地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
●地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、
つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、サントメ・プリンシペ民主共和国のホームシティは、**東海市**でした。

愛知万博／アフリカ共同館

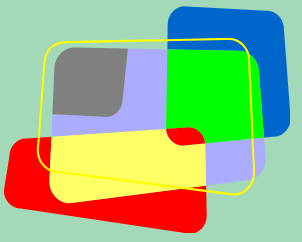


2009年度作成予定（33カ国）	アゼルバイジャン共和国 アメリカ合衆国 アンゴラ共和国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和国 ウガンダ共和国 オーストラリア連邦 カナダ グルジア コートジボワール共和国 コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和国 デンマーク王国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2008年度作成（20カ国）	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和国 ベルギー王国 ボリビア共和国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2007年度作成（10カ国）	オランダ王国 ガボン共和国 カメルーン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国

第1章

サントメ・プリンシペって
どんな国？

＝悲しい歴史を持つ、
風光明媚なリゾート地＝



クイズ70人に聞きました。

ところで、みなさんはアフリカやサントメ・プリンシペのこと、どのくらい知っていますか?

1 サントメ・プリンシペという国を知っていますか?

2 下記の地図でサントメ・プリンシペ民主共和国はどこだと思いますか?
この辺だと思うところに印をつけてください。

3 アフリカにある国をいくつ知っていますか? 知っている国をあげてください。

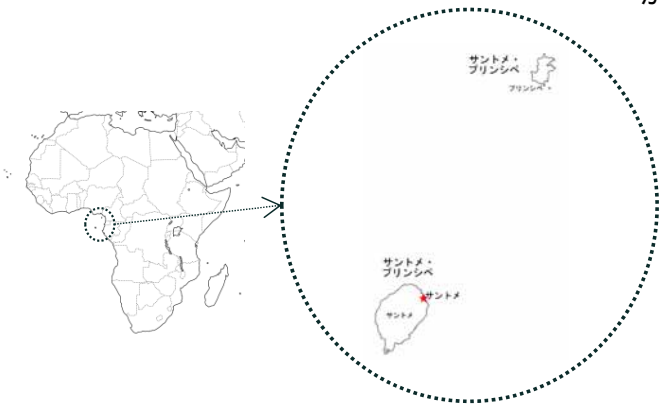
4 アフリカと言えば何を思い出しますか?人、もの、イメージ、何でもいいのでできるだけたくさんあげてみましょう!

同じ質問を小学5年生70人に聞いた結果は次のようになりました。

サントメ・プリンシペについての基礎知識を得る。

1 2 サントメ・プリンシペという国

「サントメという国の名前を聞いたことがあるような気がする」という子どもは9人いましたが、ほとんどの子どもはサントメ・プリンシペを知りませんでした。サントメ・プリンシペは日本人にとって、なじみの薄い国のようです。



サントメ・プリンシペの位置についての正解者は0人。国名もよく知らないのだから、当然の結果です。アフリカ大陸の国であると答えた人は17人。うち3人はほぼ正しい位置を答えました。ただ、どうしてわかったか尋ねると、「カンです」とのことでした。

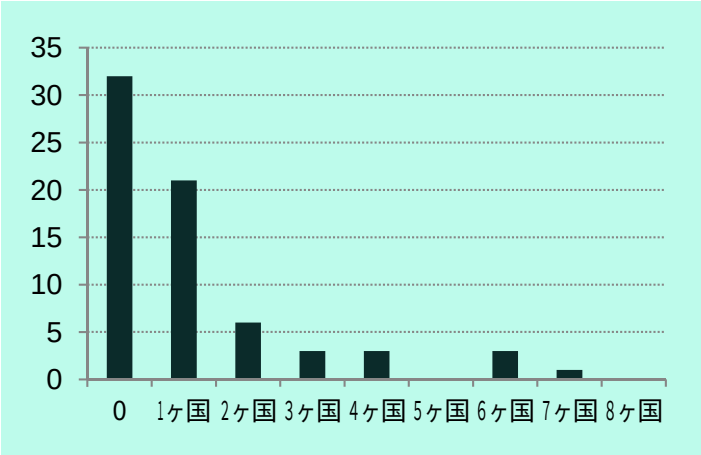
サントメ・プリンシペ民主共和国は火山島であるサントメ島、プリンシペ島を中心に、その周辺の島々からなる島国です。サントメ・プリンシペがある海は西アフリカ中央にあるギニア湾。湾内に緯度0度、経度0度の交差点があります。

また、1980年代から資源探査が進められ湾内の大陸棚に油田や天然ガス田があることが確認されています。

3 4 アフリカと言えば？

アフリカにある国については、「全く知らない」と答えた人が一番多く32人（約46%）、次いで1ヶ国が21人（30%）。平均で1.26ヶ国でした。やはり、子どもたちからはアフリカは遠い国々なのですね。最高は9ヶ国でした。

よく知られている国は、南アフリカ共和国（19人）、エジプト（13人）、マダガスカル（11人）、ケニア（10人）。全部で21ヶ国があがりました。アフリカには国は全部で53ヶ国あります。



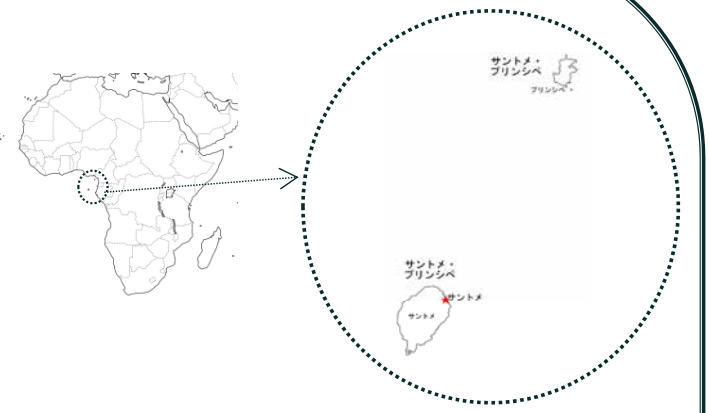
アフリカのイメージで一番多かったのは、「動物」（37人）、2番目が「黒人」（32人）で、「目が青い」と答えてくれた人も1人いました。その他は次のとおり。

砂漠（22人）／暑い（20人）／ぞう（16人）／貧しい（11人）／草原・サバンナ（11人）／ジャングル（9人）／ライオン（4人）／大自然（4人）／はだかの人（4人）／木（4人）／らくだ（3人）／土（3人）／大陸（3人）／川（ナイル川）（3人）／荒れ地（3人）／アフリカ人（2人）／ワニ（2人）／砂（2人）／雨が少ない（2人）／民族（2人）／サボテン（2人）／はだし／置物／チーター／ダイヤモンド／金／バナナ／毒のある動物／電気／壮大／ヘビ／シカ／虫／ピラミッド／ツタンカーメン／大地／お気楽／原油／赤やピンクの服／顔を隠す／たいこ／水が少ない／サル／歴史がある／楽しそう／太陽／石っぽい家／ウシ／フルーツがたくさん／がっしりした男／車が少ない／茶色／子どもがたくさん／危険／手で食べる

サントメ・プリンシペってどんな国？

ところで、みなさんはアフリカやサントメ・プリンシペのこと、どのくらい知っていますか?

次の資料を見て、サントメ・プリンシペがどんな国か想像し、グループで模造紙に書きだしてみましょう。



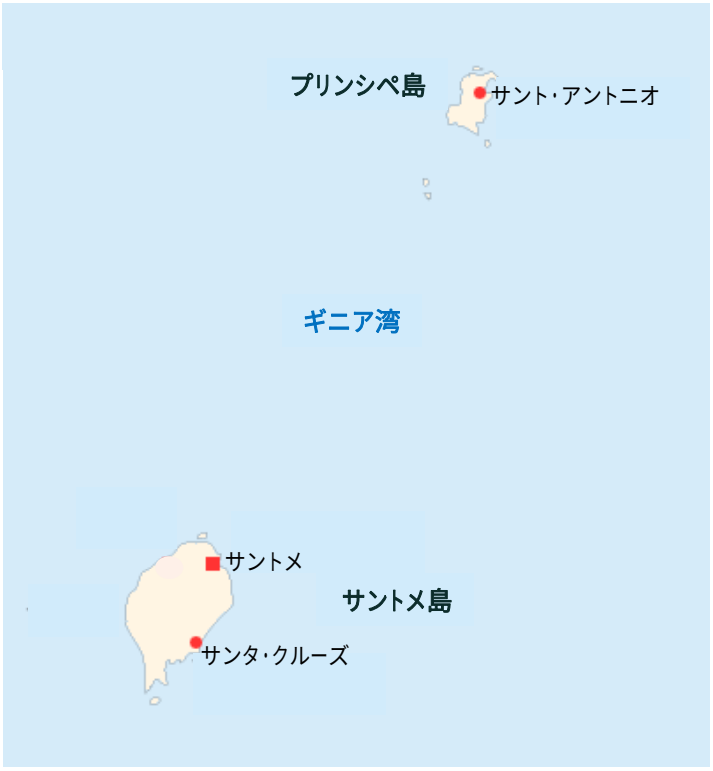
2005年愛知万博で展示されたサントメ・プリンシペの絵

1470年	ポルトガル人がやってきて、サトウキビ農園をつくる。 ベニン王国（現在のナイジェリア）やコンゴ王国と交易。 奴隷貿易の大きな基地となる。
19世紀	アンゴラ、モザンビークなどのポルトガルの植民地から労働者が移入される。
1960年	サントメ・プリンシペ解放委員会が設立される。
1975年	独立。農園は国有となる。

アサヒネットウェブサイト

P. 7の解説です。

なじみの薄い国サントメ・プリンシペの概要を大まかに把握する。



プリンシペ島

1470年、サントメ島とともにポルトガル人が発見。
カカオのプランテーションが盛んです。

サントメ島

ポルトガル人が1470年12月21日に発見し、その日が使徒トマスの日であったため、それにちなんで名づけられました。人口の90%がサントメ島に住んでいます。

＊使徒トマス：新約聖書に登場するイエス・キリストの使徒の1人。アラム語の原義は「双子」。

自然

2島とも火山島。高温多湿な熱帯性気候を示し、大部分が熱帯雨林におおわれています。
サントメ島には、標高2024mのサン・トーメ山があり、北部では降水量が年間800mm、南部では5000mmと大きな差があります。

住民

奴隷貿易の中継基地があったため、住民の構成は複雑で、大きく6グループから成ります。
ポルトガル語が公用語で、他に3つの地方語が話されます。多くはカトリック教徒です。

- フィリョス・ダ・テラ…もっとも古い住民。植民地初期に移入されたアフリカ人奴隷の子孫。
- アンゴレール…アンゴラから移入された奴隷の子孫で、主に漁民。
- フォロス…奴隷廃止時代の自由奴隷の子孫。
- セルビセ…新しい住民のうち、アンゴラ、モザンビーク、ベルデ岬諸島からの出稼ぎ労働者。
- トンガス…セルビセの2世、3世（島生まれ）。
- ポルトガル人…かつては4000人を超え、島の80%の土地を支配していましたが、独立時に大多数は本国へ引き揚げ、少数のみがサントメ島に残っています。

産業

農産物、主としてカカオ生産に依存しています。カカオの他には、ヤシ油、バナナ、コーヒーなどが主要産品です。

料理

食文化の面でも、ポルトガルの影響を受けており、パンやケーキを焼いたり、チキンのトマト煮などポルトガル風の料理がたくさんあります。ただ、高温多湿な気候のため、ポルトガルよりややスパイシーな味付けです。
サントメ・プリンシペは、かつて奴隷貿易の拠点であったり、アンゴラ内戦のときにアンゴラ難民が多く渡ってきたことから、アンゴラ料理との共通点もたくさんあります。例えば、とうもろこしを常食したり、バナナやパイナップル、アボガドなどのトロピカルフルーツを多く食べたり、焼き魚や魚のフライなども食べます。

サントメ・プリンシペ　クイズ

サントメ・プリンシペってどんな国?クイズに答えてみましょう。

1 サントメ・プリンシペは日本と同じ島国です。日本は本州、九州、北海道、四国と大きな島は4つですが、ではサントメ・プリンシペは、いくつの島からなる国でしょう。

2 その2つのうち、大きい方の島であるサントメ島と同じ面積の日本の島はどれでしょうか。

A 四国　　B 沖縄本島　　C 佐渡島　　D 淡路島　　E 屋久島

3 その二つの島を中心とした島国、サントメ・プリンシペですが、国全体の大きさは他の国に比べてどれ位なのでしょうか。以下の4つの国は国土面積の大きい順に並べてありますが、サントメ・プリンシペはどこに入るでしょうか。

A 日本　＞　B 大韓民国　＞　C 台湾　＞　D シンガポール

4 次の3つのうち、サントメ・プリンシペの国旗はどれでしょう。

A

B

C

5 では、国旗に使われている4色のそれぞれの色が表す意味はどれでしょう。（　）の中に番号を記入しましょう。

赤（　）　　緑（　）　　黄（　）　　黒（　）

A 独立・血　　B 国家・国民　　C 森林・農業　　D 富・豊かさ

6 では、黒の星が二つあるのはなぜでしょう。

7 サントメ・プリンシペの主食はなんだと思いますか？ 次の中から選びましょう。

A コメ　　B 小麦　　C トウモロコシ　　D バナナ　　E イモ

8 サントメ・プリンシペは耕地面積が少なく、食糧生産に苦慮しているため、日本も援助として資金提供をしています。○でしょうか×でしょうか。

9 サントメ・プリンシペで良く食べられる食料の一つにパンの木があります。さて、この木、どうやって食べるのでしょう。

A 木の皮を水につけ、よくもむとパンのように柔らかくなり、これに料理をはさんで食べる。

B 根に多くでんぷんを含むので、根から取り出したでんぷんを固め、焼くとパンのようになる。

C 果肉をそのまま蒸し焼きにしたり丸焼きにしたりして食べる。

D トウモロコシの粉とパンの木の葉を刻んだものを混ぜて焼くと、パンのようにふっくらした食べ物になる。

P.9のこたえと解説です。

遠い国、サントメ・プリンシペを3つの視点からイメージする。

1 2つです。名前の通り、サントメ島とプリンシペ島からなっている国です。

2 正解は**Cの佐渡島**です。 それぞれの島の大きさは、

A 四国 18,780㎢　　B 沖縄本島 1,206㎢　　C 佐渡島 857㎢

D 淡路島 593㎢　　E 屋久島 504㎢

3 正解は**C台湾とDシンガポールの間**です。それぞれの国土面積は

A 日本 377,887㎢ 61位 ＞ B 大韓民国 98,480㎢ 108位 ＞ C 台湾 35,980㎢ 138位 ＞ サントメ・プリンシペ 960㎢ 171位 ＞ D シンガポール 693㎢ 177位

ちなみにプリンシペ島は107平方キロメートルで、サントメ島の1／8の 大きさです。(日本で比較すると壱岐島より少し小さい程度です。)

4 正解は、Aです。Bはガーナ、Cはカメルーンの国旗です。

5 赤：A　緑：C　黄：D　黒：B

アフリカ諸国の国旗は、赤・緑・黄の3色が基本になっていることが多くあります。これはガーナが他のアフリカ植民地に先駆けて独立したため、「アフリカ大陸の夜明け」と祝福され、その後に独立したアフリカ諸国の旗に大きな影響を与えたことによります。赤・緑・黄は「アフリカの色」と言われています。

6 サントメ・プリンシペは上記の「アフリカの色」3色に加え、国家や国民を意味する黒の星を2つ中央に配しています。これはサントメ島、プリンシペ島の2島を表すと同時に黒人国家であることを象徴しています。

7 正解はAコメ、B小麦、Cトウモロコシです。

サントメ・プリンシペのかつての宗主国はポルトガルです。ポルトガルの影響は食文化にもうかがえます。たとえば、パンやケーキを焼く技術をはじめ、ハマグリとピーナッツ、果物などをポートワインで調理したマタタ(Matata)や、チキンのトマト煮、ピリピリソースをつけて炭火焼きするフランゴ(Frango)といった料理は、まさにポルトガル風です。また、サントメ・プリンシペは、かつてアフリカ(アンゴラやモザンビーク)からブラジルへの奴隷貿易の中継地であり、アンゴラ内戦の際にはアンゴラから多くの難民が渡ってきたため、料理にも今も両国と共通したものが見られます。とうもろこしを常食したり、雑穀や米、温かいシチューがポピュラーだったりすることです。また、アボガドや、パイナップル、バナナといったトロピカルフルーツや、海に囲まれているため焼き魚、魚のフライといった魚料理も食べられています。

8 ○です。

火山山脈の山岳地形であるため、サントメ・プリンシペでは耕作地が国土全土の8%しかなく、食糧生産は低迷しています。主食の米、小麦粉、トウモロコシ粉は輸入されており、また、現地で生産されている基礎食糧のバナナ、いも類、パンの実は生産量が十分でないため食糧価格は高騰しています。このように国内で生産できる農作物の種類と量は限られているため、国民の食糧需要を満たすには十分でない状況であり、平成19年度は日本から3億円程度の資金援助が行われています。

9 正解はCです。

パンの木はクワ科パンノキ属の植物で、ポリネシア原産です。木は高さ15mほどに成長します。葉が大きくよく茂ることから、熱帯地方では日陰樹として公園や庭園に、または街路樹として植えられることが多くあります。果肉に多くのでんぷんを含み、蒸し焼きや丸焼き、あるいは薄切りにして焼いて食べられます。また火で乾かしてビスケット状にし、貯蔵することもできます。味はサツマイモに似ているとされます。18世紀末にイギリスのウィリアム・ブライによって、黒人奴隷の食料として西インド諸島に導入された、という歴史をもちます。

ちょっとブレイク

切手からわかるサントメ・プリンシペと台湾

右のシート二つは2006年サントメ・プリンシペ発行の切手です。果物を描く5種（左がグアバ、スターフルーツ、インドナツメ、ジャワフトモモ、パパイア。右がアボガド、パラミツ、Sap-Sap、アノナ属、マンゴー）とタブ4枚を収めるシート2種です。

タブはどちらもサントメ・プリンシペと台湾両国の国旗と握手のマークを配したタブになっています。

1997年の国交樹立以来、台湾とサントメ・プリンシペは親密な関係にあります。2009年現在、台湾との国交樹立国は23か国。国連に加盟していない台湾とすればこれら23の国としっかりした友好関係を築いておくことで、間接的にではありますが、国連の場で自国の存在をアピールできることになります。中国との関係もあって台湾と国交を結び続ける国が年々減る中、台湾はサントメ・プリンシペに対して親身なきめ細かい援助を続けています（港湾・道路整備や公用車・消防車等の購入資金の無償援助、大統領選挙時の選挙監視委員メンバーの派遣など）。台湾にとって、サントメ・プリンシペのような小国に対してはより少ない負担でより濃厚な援助を用意できることになります。

一方、サントメ・プリンシペとすれば、国連には加盟してはいませんが、目に見える援助を確実に積み重ねてきた台湾は、とても身近で親しみを感じる国になるわけです。

ちなみに台湾語でサントメ・プリンシペを表記すると「聖多美普林西比民主共和國」になります。

何でもあり！？　サントメ・プリンシペの切手

サントメ・プリンシペの最初の切手は1869年。王冠を描いた植民地共通の切手に地域名の入ったものです。

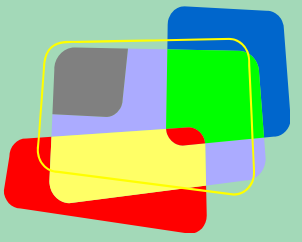
第二次大戦後は次第に多彩な切手の発行がみられるようになりますが、その端緒は1948年のカカオをはじめ熱帯の果物を描いたシリーズでした。1950年代に入ると、世界一美しいといわれたポルトガル自慢の平版印刷で、いくつかのシリーズものが発行されます。これらの多くは各植民地共通テーマのオムニバス形式によるものでした。

1975年の独立後は、切手の発行が急に多くなります。この国とはほとんど無関係なテーマの派手な切手が次々と発行されますが、こうした切手の一部は政府の発行したものではないとの注意書もみられます。

台湾外交部ウェブサイト／『観光コースではないアフリカ大陸西海岸』桜井和馬著（高文社出版）

第2章

へぇ〜！
サントメ・プリンシペと日本



蘭ラン交流　さて、どうする？

サントメ・プリンシペと交流を進めることになりました。さて、みなさんなら、どんな交流事業を企画しますか？

愛知県東海市は、2005年愛知万博の時、サントメ・プリンシペとフレンドシップパートナーを組みました。東海市は、日本でも有数の洋ランの産地として有名ですが、実はサントメ・プリンシペにも多くのランが自生しています。そこで！ 東海市はランを活用した交流をサントメ・プリンシペと行うこととし、みなさんをプロジェクトチームのメンバーに任命することになりました。

みなさんはプロジェクト担当として、交流プログラムを企画しなければなりません。グループで相談をして企画書を模造紙に書き、提案してみましょう。

1. まずは、東海市とサントメ・プリンシペに関する資料（→P.14）を読んでみましょう。

2. このプログラムを通して、何が実現でき、どんな効果があるといいですか？ 交流プログラムのねらいをグループで話し合いましょう。ねらいが決まったら、企画書（模造紙）に書き込みましょう。

蘭ラン交流　企画書

事業名：

ねらい：

3. ねらいが決まったら、いよいよそのねらいを実現するための具体的な企画をつくります。 企画に必要なのは以下の4点です。それぞれ、箇条書きにして企画書に書いていきましょう。
   - 開催時期　（いつ頃、どのぐらいの期間行うか？）
   - 開催場所　（どこでやるか？）
   - 参加者　（どんな人が参加するのか、または参加して欲しいのか？）
   - 内容　（何を、どうやるのか？ できるだけ具体的にくわしく）

4. 最後に魅力的な事業名をつけましょう。

5. できあがった企画を、グループ全員で発表しましょう。他のグループが発表したあとで、下の2種類のカードを書きます。また、発表した後、企画書は黒板に貼っておきます。
   - ●なるほどねカード（ピンクのカード）
     「なるほど、このアイデアすばらしいな」と思う点、良いところを書きましょう。できれば、どのように良いかも書きます。
   - ●提案カード（青のカード）
     「ここをこうしたらもっとおもしろくなるのでは」と思う提案を書きましょう。

6. すべて発表が終わったら、黒板にあるそれぞれの企画書にカードを貼りましょう。

7. 全部のグループの発表が終わったら、カードの貼られた企画書をグループに持ち帰り、もう1度グループで相談して、企画をさらに練り込みましょう。

8. さて、どんな企画ができあがりましたか？ 企画を作った時に、工夫したところ、難しかったこと、あるいは他のグループの企画を見て、素晴らしいと思ったことなど感想を話し合いましょう。

9. 最後に、今まで考えてきたことを通して、「国際交流」は何のためにやるのだと思いますか？ なぜ、国際交流は大切なのでしょう？ みんなで話し合いましょう。

※ ここでは東海市のランを活用した交流プログラムを企画しましたが、みなさんが住んでいる町だったら、何を活用したプログラムができると思いますか？ 町の自慢や課題などを出し合ってみましょう。

P.13の解説です。

東海市とサントメ・プリンシペの事例を使って企画の作り方を学ぶとともに、何のために国際交流をするのか考える。

東海市とサントメ・プリンシペのラン事情

東海市立農業センター所長　蟹江正文

全国一の花王国・愛知。その中でも東海市は洋ランの生産が第2位で、栽培面積は860アール、出荷鉢数80万鉢を誇っています。東海市のラン生産の特色は、花の種類が多いこと。シンビジウムを始め、コチョウラン、デンドロビウム、カトレヤ等様々な種類のランが生産されています。

東海市では、毎年1月の第4土、日曜日に市内の洋ラン生産農家が中心となって、東海市の花の祭典「東海フラワーショウ」が開催されています。会場となる市民体育館はあふれんばかりに、艶やかな洋ランで埋めつくされ、市内外から多くの市民が訪れています。東海市では、古くから花や観葉植物の生産が盛んですが、洋ランの生産にあっては約40年前の昭和40年代にバイオテクノロジーの1つであるランの生長点培養（メリクロン）技術の進歩によって、短期間に優良な花の苗生産が可能となり、洋ランは私たちの身近な花となってきました。更に、夏の高温時に株を高冷地で育てて、開花の時期を調節するという「山上げ栽培」が多くの研究者によって確立し、生産者の中でも一般化するようになり、需要の多い年末に、手軽に園芸店で購入出来るようになりました。また、東海市の農業センターでは、生産農家と一緒に新しい品種の開発に取り組み、デンドロビウム「チャーミーレイ、ヘイシュウ、セントレヤ・ハッピーバースデイ」、シンビジウム「サロンド　トウカイ」等の新しい洋ランの品種を発表しています。

一方、サントメ・プリンシペでは、サントメ島に104種類、プリンシペ島に64種類のランが発見され、保護されています。サントメ・プリンシペでは、ストレチアの切り花やカカオ、コーヒーが生産されていますが、赤道直下のため日差しが強いこともあり大木の下にカカオやコーヒーが植えられ、無農薬栽培を基本に自然農法的な生産栽培が行われています。自生するランの花を商業化する考えは無く、保護区が設定されたサントメ山へ海外から訪れる観光客にトレッキングツアーとして紹介されています。このため、標高の高いサントメ山では、動植物の生態系が比較的守られていて、まだ未発見のランが自生している可能性も有り、サントメ島の魅力の一つにもなっています。

チャーミーレイ

サロンドトウカイ

ストレチア（サントメ・プリンシペ）

ドラセナ（サントメ・プリンシペ）

「国際交流」って何だろう？

「国際交流」は何のためにするのでしょうか？「国際交流」はただ単に外国語を話したり、外国の人と仲良くなることではありません。「国際交流って何？」について、いろいろな方に聞いてみました。

● 仲良くなること ● いろいろな国の人たちと出会って、いろいろな体験をする、そして理解しあうこと ● 相手を尊重すること ● 生まれた国や名前とか関係なしで、みんなと仲良くすること ● お互いのやり方の違いを楽しみ、学びあうこと ● いろいろな国のことを知りながら、自分の国の良い点、悪い点を知ること ● だれもが暮らしやすい社会をつくること ● 多様性を楽しむこと ● 自分の国を外からみること ● 異文化のおもしろさを体験すること ● 異なったものに触れること ● 豊かになること ● みんなの幸せを願うこと ● 平和な社会をつくること ● 足りないものをお互いに補い合うこと ● 違いから学ぶこと ● お互いの知恵と文化を提供しあうこと

数字で比べてみよう！サントメ・プリンシペと日本

サントメ・プリンシペとアフリカの現状について、日本と比べながら考えてみよう。

1 これから、サントメ・プリンシペの子どもたちの状況を数字で見てみるために、4つの統計を使います。
まず、4つの統計の示す意味を、先生（ファシリテーター）から聞きましょう。（→P. 16）

A 5歳未満児死亡率（単位：人）

B 平均余命（単位：歳）

C 成人の総識字率（単位：%）

D 適切な衛生施設を利用する人の比率（単位：%）

2 次のカードの数字は日本、またはサントメ・プリンシペの統計数値です。それぞれの下の表のどこにあてはまるでしょうか。カードを切り取り、グループで相談しながら、表の中に入れていきましょう。

100	100	99	88
83	83	65	4

	5歳未満児死亡率（人）	平均余命（歳）	成人の総識字率（%）	適切な衛生施設を利用する人の比率（%）
日本				
サントメ プリンシペ				

3 表を完成させてみてどう思いましたか？ 感想を話し合ってみましょう。
また、P. 17のアフリカの地図を見て、どんなことに気づきますか？ 思ったことを何でも話し合ってみましょう。

P.15のこたえと解説です。

地球の現状、サントメ・プリンシペやアフリカの状況を知り、日本の私たちの生活が当たり前でないことに気づく。

	5歳未満児死亡率（人）（2007年）	平均余命（歳）（2007年）	成人の総識字率（%）（2000-2007年）	適切な衛生施設を利用する人の比率（%）（2006年）
日本	4	83	100	100
サントメ プリンシペ	99	65	88	83

これに、特に貧しいとされているサハラ以南のアフリカの国々の要約を加えるとこうなります。

	5歳未満児死亡率（人）	平均余命（歳）	成人の総識字率（%）	適切な衛生施設を利用する人の比率（%）
サハラ以南のアフリカ	148	50	62	30

「世界子供白書2009」を参照。日本の識字率は子供白書に数値がないので、2002年度のユネスコの統計99.8%から取りました。

数字の意味すること

5歳未満児死亡率（単位：人）

現在の死亡率がそのまま続くと仮定した場合に、出生から5歳の誕生日を迎えるまでの間に子どもが死亡する確率を、出生1,000人あたりの数字で表したものです。現在、5歳未満児の死亡の約40%が、多様な合併症がもとで新生児期（生後1カ月以内）に命を落としています。肺炎と敗血症、その他下痢性疾患、マラリア、はしか、エイズなどで多くの子どもが命を落としているのです。さらにその原因として栄養不良が全体の50%を占めますが、安全でない水、衛生習慣の欠如、不適切な衛生施設（トイレ）も重要な要因となっています。

ユニセフウェブサイト

平均余命（単位：歳）

今、生まれたばかりの子どもが、その時のその国の状態がずっと続いた場合、ここまで生きられるであろうと予測された年月のことです。日本の平均余命は80歳を超えていますが、アフリカの国の中にはその半分以下のところもあります。南アフリカの平均余命は47歳(2003年)で、エイズの蔓延とともに年齢が下がり、2010年には40歳を割り込むと予測されています。

世界保健機構（WHO）2003

成人の総識字率（単位：%）

15歳以上で読み書きできる人の数です。当該年齢層の総人口に占める比率で表します。現在世界で、15歳以上の5人に1人が非識字者で、その数は8億6,100万人にのぼり、3分の2を女性が占めています。また学校に行くことのできない子どもの数は1億1,300万人を数えます。「国連識字の10年（2003年～2012年）」の目的は、識字の重要性を訴え、識字率向上を世界に喚起することにあります。テーマは“Literacy as Freedom”です。

ユネスコウェブサイト

適切な衛生施設を利用する人の比率（単位：%）

不適切な衛生施設（トイレ）は、子どもたちの生存を脅かします。糞便で汚染された環境は、5歳未満児の最大の死亡原因である、下痢性疾患に直結するからです。たとえ少数でも屋外での用足しの生活を送る人々がいるようであれば、適切な衛生環境の実現は極めて難しくなります。現在世界で、25億人もの人々が、不十分な衛生施設（トイレ）で苦しんでおり、12億人近くが屋外で用を足しています。また、同じ国の中でも農村部と都市部で格差が生じています。世界的には、農村地域ではおよそ7億4,600万人と、都市部の家庭の1億3,700万人と比べて実に4倍の安全な水源を利用できない人々がいるのです。

ユニセフウェブサイト

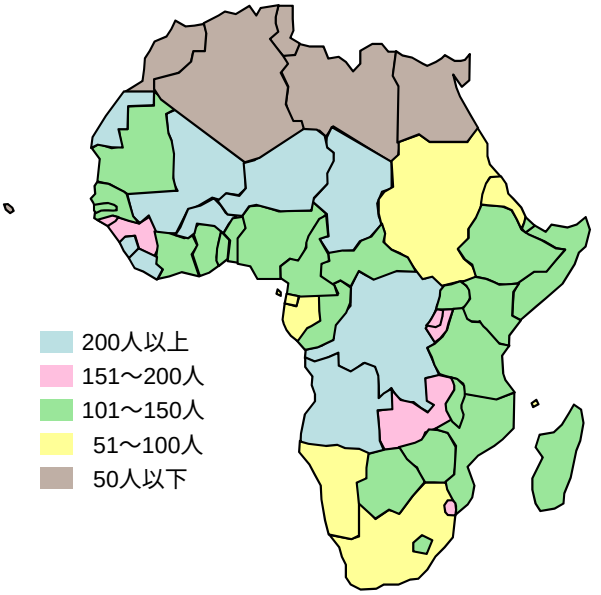
→P. 17へつづく

アフリカの状況

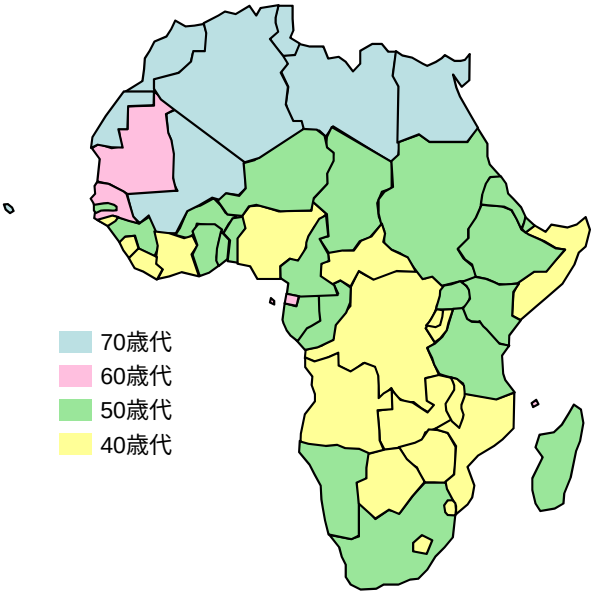
では、サントメ・プリンシペ以外のアフリカの国は、どういう状況でしょうか。広大な大地と豊かな自然に恵まれたアフリカ大陸。その大陸では人々はどんな暮らしをしているのでしょうか。

「貧困」について、所得以外の生活の質や社会的側面から測定した数値を「人間貧困指数」といい、①40歳まで生存できない出生時確率、②成人非識字率、③改善された水源を継続して利用できない人口および年齢の割に低体重の子どもの割合の3つをもとに算出します。この数字によるとアフリカ、特にサハラ以南の国々は貧困指数が高く、多くの人々が苦しんでいる状況です。下の地図は、前ページの4つの指標に関してアフリカの国々を色分けし、それぞれの状況をあらわしたものです。

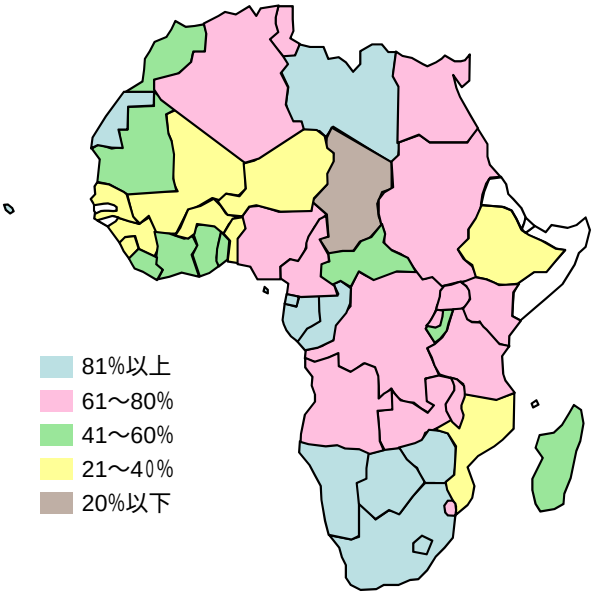
5歳未満児死亡率（1,000人あたり）



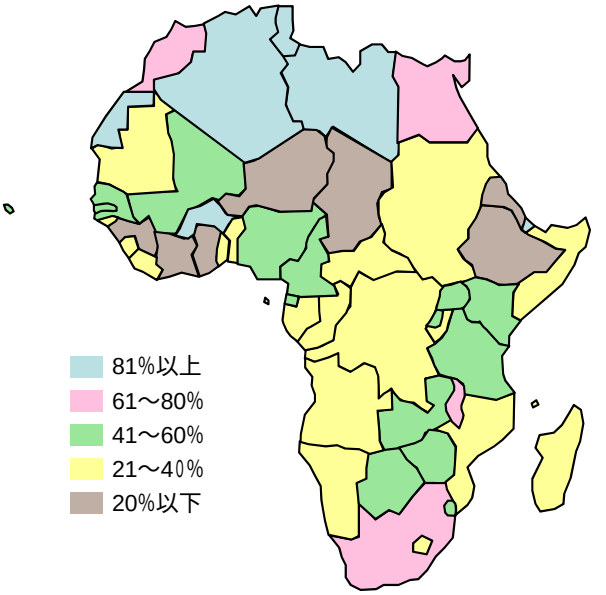
出生時の平均余命



成人の総識字率



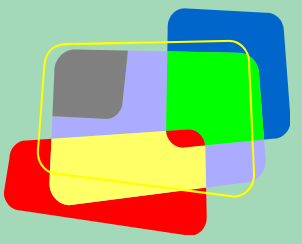
適切な衛生施設を利用する人の比率



「世界子供白書2008」を参照して作成

第3章

一緒に考えよう！こんな課題



サントメ・プリンシペとカカオ

サントメ・プリンシペ、実は私たちの大好きな食べ物の生産地なんです。

サントメ・プリンシペの主な輸出品はカカオ豆で、2004年の輸出額は530万ドルになります。
これはサントメ・プリンシペの全ての輸出額の約9割にのぼります。

1 (写真A～Cを順に掲示して)この写真はある食べ物の原料です。一体なんの原料でしょう。

A

B

C

ヒント1 子どもが好きな食べ物です。

ヒント2 お菓子です。

ヒント3 2月にとてもよく売れます。

ヒント4 明治時代には「貯古齢糖」と書かれて宣伝されました。

里村京子

2 チョコレートやカカオについて知っていることをグループでできるだけたくさん出しましょう。

3 (各グループに資料1(→P. 21)と世界白地図、2色のシールを配布する。)
資料1を見ながら、カカオ豆の生産量の多い国10カ国とチョコレート消費量の多い国10カ国に異なる色のシールを貼りましょう。位置を確認して、気付いたことをグループ内で、その後全体で話し合いましょう。

4 資料2(→P. 21)を見ながら、カカオ豆生産国とチョコレート消費国の状況について、グループ内で話し合いをした後に全体で発表しましょう。

P.19のこたえと解説です。

チョコレートを通してサントメ・プリンシペを身近に感じるとともに、その課題についても知ろう。

1

里村京子

答えはチョコレート。この3枚の写真は、チョコレートの材料であるカカオです。写真Aはカカオの木になっているカカオポッド（カカオの実のかたまり）です。色は茶色ですが、熟すると黄色くなります（左の写真）。カカオの木は常緑樹で成長すると7～10メートル、幹の太さは10～20センチになります。幹にも実がなる、という少し変わった木です（右下の写真）。写真Bはカカオポッドを割ったところ。中には30～40粒のカカオの実が入っています。このまま食べることができ、ライチのような味がするそうです。写真Cは実の中の種を乾燥させた物（左下の写真は乾燥させる前です）。この種がいわゆるカカオ豆になります。この乾燥させた種を炒って粉にし、砂糖などと混ぜ合わせてチョコレートが出来上がります。

ガーナの農家にて

カカオ協会ウェブ

2 カカオとチョコレートに関する豆知識をいくつかご紹介しましょう。（→P. 22）

3 カカオ豆は、つぎの限定された条件をクリアできる地域でのみ栽培することが可能です。（→P. 22地図）

- ○ 平均気温27度以上で、年間を通じてこの上下幅が狭いこと。
- ○ 日照時間の平均が1日5時間から7時間であること。
- ○ 降雨量は、年間2000mm以上の高温多湿であること。
- ○ 土壌や土質は、粘土質40%以下の水はけの良いところ。

これらの条件を満たしている地域は、主に赤道をはさんで南北緯20度以内の狭い地域です。西アフリカ、東南アジア、中南米がこの限定された地域にあたります。

4 資料 （→P. 21・22）でもわかるとおり、チョコレートの生産国はサントメ・プリンシペも含め、開発途上国ばかりです。逆に消費量の多い国は、日本を含めて先進国に分類される国がほとんどです。生産国の中には、学校にも行けない子どもたちを働かせている児童労働の問題を抱えている国も少なくありません。私たちが普段日常的に口にしているこの甘いお菓子が、見過ごすことのできない問題につながっている。そんなことを考える糸口になるかもしれません。

「私の国には学校に向かいながらチョコレートをかじる子どもがいて、ここには学校にも行けず、生きるために働かなければならない子どもがいる。少年たちの瞳に映る問いは、両者の間の果てしない溝を浮かび上がらせる。何と皮肉なことか。私の国で愛されている小さなお菓子。その生産に携わる子どもたちは、そんな楽しみをまったく味わったことがない。おそらくこれからもないだろう。

これは私たちが生きている世界の裂け目を示している。カカオの実を収穫する手と、チョコレートに伸ばす手の間の溝は、埋めようもなく深い。」

『チョコレートの真実』キャロル・オフ著　英治出版より抜粋

参考資料

チョコレートの真実

資料1　主な国のカカオ生産量とチョコレート消費量

2006/2007年 主な国のカカオ豆生産量（単位：千トン）			2006年 主な国のチョコレート国内消費量（単位：トン）		
①	コートジボワール	1,229.3	①	アメリカ	1,632,825
②	ガーナ	615.0	②	ドイツ	919,615
③	インドネシア	520.0	③	イギリス	623,685
④	ナイジェリア	190.0	④	フランス	445,135
⑤	カメルーン	168.4	⑤	ブラジル	404,000
⑥	ブラジル	126.2	⑥	日本	285,350
⑦	エクアドル	114.5	⑦	イタリア	226,925
⑧	トーゴ	78.0	⑧	スペイン	144,225
⑨	パプアニューギニア	47.3	⑨	オーストラリア	119,360
⑩	ドミニカ共和国	42.2	⑩	ベルギー	97,240

★サントメ・プリンシペ　2.8千トン

日本チョコレート・ココア協会ウェブサイト

資料2　カカオ生産国とチョコレート消費国の状況

国名	5歳未満児死亡率（人／千人あたり）(2007)	平均余命（歳）(2007)	成人の総識字率（%）(2000-2007)	適切な衛生施設を利用する人の比率（%）(2006)
アメリカ	8	78	—	100
ドイツ	4	79	—	100
イギリス	6	79	—	—
フランス	4	81	—	—
ブラジル	22	72	91	77
コートジボワール	127	48	49	24
ガーナ	115	60	65	10
インドネシア	31	70	91	52
ナイジェリア	189	47	72	30
カメルーン	148	50	68	51

『世界子供白書2009』ユニセフ

カカオ＆チョコレートに関する豆知識

カカオの原産は中南米。3000年も前からすりつぶされたカカオをつぶしたトウモロコシに混ぜて（他にもチリペッパーやバニラ、ハーブ、ハチミツなども混ぜられました）飲まれていました。

カカオと初めて出会ったヨーロッパ人はあのコロンブス。もっとも、コロンブスはあまりカカオには興味を持たず、スペインには持ち帰るものの、それ以上のことはしませんでした。

アステカ（1325年から1521年まで中米メキシコ中央部に栄えたメソアメリカ文明の王国）ではカカオは貨幣としての価値もありました。ウナギや魚がカカオ豆10粒、カボチャは4粒。奴隷は100粒で交換されていたそうです。

スペインの将校エルナン・コルテスはアステカを征服すると同時に、カカオを飲み物としてヨーロッパに伝えました。

初めてカカオに砂糖を加えたのはスペイン人の司祭や修道士だったようです。彼らは、カカオを自分たちの好みに合わせるために、カリブ海産の砂糖を大量に加えることを発明しました。当時、カカオは身分の高い人たちの飲み物とされ、一般の人の口にはいることはありませんでした。

クリストファー・コロンブス
【1451年～1506年】
イタリア出身の探検家・航海者・商人。歴史上、はじめてアメリカ大陸を「発見」したヨーロッパ人として知られています。生涯のなかで、4度航海にでており、4度目の航海の時、カカオ豆を入手したとされています。

エルナン・コルテス
【1485年～1547年】
アステカ帝国を征服したスペイン人の貴族。19歳で大西洋を渡り、1519年にアステカ帝国皇帝モン・スマ2世と会見。1521年にアステカ帝国を征服した人物として知られています。

日本で最も古いチョコレートの記録は寛政9年（1797年）、長崎におけるもの。『長崎見聞録』に「しょくらあと」（チョコレートドリンクのこと）の飲み方や味が記されています。このことから18世紀後半には日本にチョコレートが伝わって来ていたことがわかります。

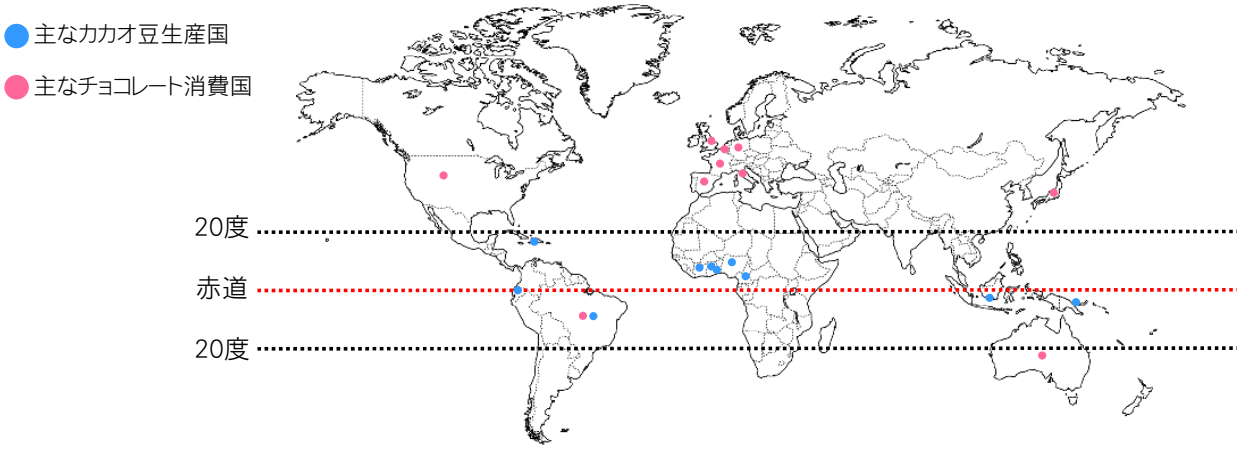
日本での2005年のチョコレートの売り上げ総額は4，066億円。日本で一番チョコレートが売れるのはバレンタインデーシーズンで、530億円と総額の約13%を占めます。

2005／2006年のサントメ・プリンシペのカカオ生産量は3，000トン。世界の中では微々たる量ですが、サントメ・プリンシペ国内ではカカオ産業は主要な産業になります。日本も少量ですが、輸入しています。（同年のサントメ・プリンシペの日本への輸出総額は902万円で、その内41．7%に当たる375万円がカカオです。）

バレンタイン司祭は3世紀のローマの人です。一説によると、当時の皇帝クラウディウス2世は、強兵策の一つとして兵士たちの結婚を禁止していました。これに反対したバレンタイン司祭は、皇帝の命に反し多くの兵士たちを結婚させ、皇帝の怒りをかってついに殺されました。この殉教の日が西暦270年の2月14日で、バレンタイン司祭は聖バレンタインとして敬われるようになり、この日をローマカトリック教会では祭日としているとのことです。

バレンタインデーはもともとヨーロッパやアメリカで、恋人や夫婦がお互いに相手に贈り物をする日でした。その習慣をチョコレートと結びつけ、1956年に東京の製菓会社が初めてデパートでバレンタインフェアを開催しましたが、馴染みのない習慣のため、総売上は170円でした。その後、各社が次々にキャンペーンを打ち出し、1970年代から若者の間で流行、現在にいたります。

チョコレート作る国と食べる国



サントメ・プリンシペの歴史と奴隷貿易

サントメ・プリンシペの悲しい歴史を知ると同時に、奴隷貿易と現在のアフリカとの関連性について考えよう。

1 まずはサントメ・プリンシペの歴史〇×クイズです。次の4つの文章は、〇でしょうか、×でしょうか。

A サントメ・プリンシペはもともと無人島だった。

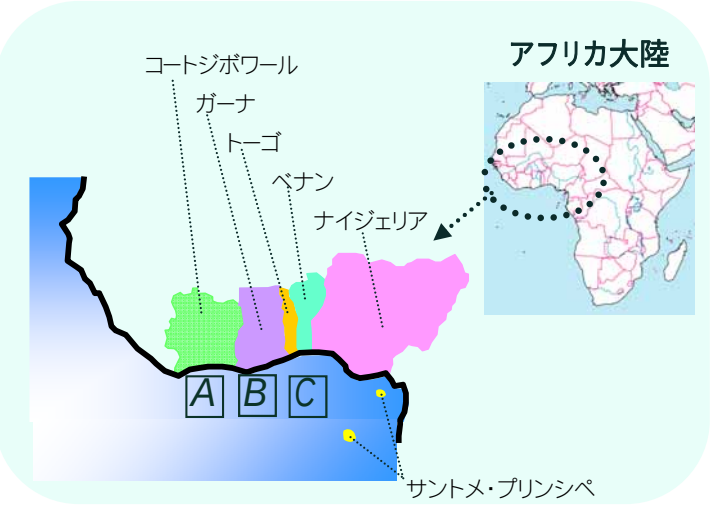
B その島を発見したのはスペイン人である。

C サントメ・プリンシペという名前は、日本語に直すと「聖トマスと王子」である。

D 島は最初、貴族の別荘地として使われていた。

2 かつて、西アフリカー帯はその国の主要産品にちなんで「〇〇海岸」と呼ばれていました。右の地図のA、B、Cはそれぞれ何海岸と呼ばれていたでしょう?

ア 黄金海岸
イ トウモロコシ海岸
ウ 象牙海岸
エ ダイヤモンド海岸
オ 奴隷海岸
カ コーヒー海岸



3 現在のサントメ・プリンシペとなる島はやがて、上記の3つの主要産品のうち、1つのものの中継地として栄えるようになります。それは一体何でしょう。

4 奴隷貿易に関する資料 (→P. 25) を読んで、感想を話し合ってみましょう。

P.23のこたえと解説です。

サントメの歴史を通して、遠い国のこと、過去のこと…と思うことも実は、今の私たちとつながっていることを知る。

1 A ○ B ○ C × D ×

サントメ・プリンシペの2つの島は、1470年ガーナへの航海途中のポルトガル人ペロ・デ・エスコラール（生没年不詳）によって発見されました。その日が使徒トマスの日である12月21日だったため、それにちなんでポルトガル語でサントメ・プリンシペ（セント・トーマス・アンド・プリンス。日本語で「聖ペトロと王子」）と名づけられました。島は最初はポルトガルの流刑地として使われていました。入植者はほどなく両島の火山灰質の土壌がサトウキビ栽培に好適であることに気付き、やがて島ではサトウキビやカカオ栽培が盛んに行われるようになりました。

ペロ・デ・エスコラール

2 A ウ 象牙海岸　B ア 黄金海岸　C オ 奴隷海岸

3 奴隷

15世紀後半以降、ポルトガル人はここにサトウキビ栽培のため多くのアフリカ人を連れてきて奴隷制植民地社会を築きました。さらに、大西洋を舞台とする奴隷貿易の中継基地としても、島を長く利用しました。

奴隷制度とアフリカ、そして日本

もともと、アフリカの伝統的王国では、奴隷制を持っていました。周辺部族から武力、あるいは交易によって獲得した奴隷を労働力として使っていたのです。

ヨーロッパ人によるアフリカ黒人を対象とした奴隷貿易が問題となるのは、大航海時代以降、主にアメリカ大陸に開かれた広大なプランテーション経営のために黒人が使われるようになってからです。また、このころ、中南米で鉱山労働などに使われていたインディオが重労働と伝染病のため激減し、それに代わる労働力としても黒人奴隷が求められました。16世紀の奴隷貿易は、ポルトガル、スペインによって展開されましたが、17世紀になるとオランダ、イギリス、フランスなども奴隷貿易に乗り出しました。西欧諸国がアフリカからアメリカに運んだ黒人奴隷の総数は、1500万人から2000万人程度というのが通説になっていますが、それ以上という説もあります。この奴隷貿易は、産業革命以降、批判が強まり、廃止されていきます。

なお、奴隷貿易は日本とも直接的な関係を持っています。秀吉の時代にポルトガル商人によって奴隷として海外に売られた人が少なからずいたという記述が残っています。また、同時に朝鮮出兵の時に連れ帰った多くの朝鮮人を奴隷として日本人が売りさばいた、というエピソードもあります。

※ 奴隷貿易についてはさまざまな感想があると思いますが、このプログラムは、奴隷貿易の是非を問うことを目的としているのではありません。アフリカの現状はこうした悲しい歴史のもとにあるという事実を知ると同時に、その事実と、現在先進国と言われている国々との関わりについて考えていくことが大事なのではないでしょうか。

多くの国々の貧困問題は、その国々だけの責任ではありません。環境や平和などさまざまな地球規模といわれている課題と同様に、わたしたちの日常の生活が地球全体につながっているということを、もう一度、考え直してみましょう。

参考資料

奴 隷 貿 易

奴隷貿易の実態

　値段をつけられた奴隷たちは船出の日を待ち、体重が60キロに満たない男は落花生（らっかせい=ピーナッツ）で太らせたといいます。奴隷たちは、館の裏口に続く船着き場から、船に乗せられて大西洋を渡ってゆきました。奴隷船に押し込められ、2か月近くもの間、足首に鎖をつけたまま運ばれました。絵のように、人がすし詰め状態でできるだけたくさん乗らされました。1日に1回は新鮮な空気を吸わせるために、甲板に上げられたそうです。病気で亡くなると遺体は海に捨てられ、大量のサメが奴隷船の後を追ったといいます。

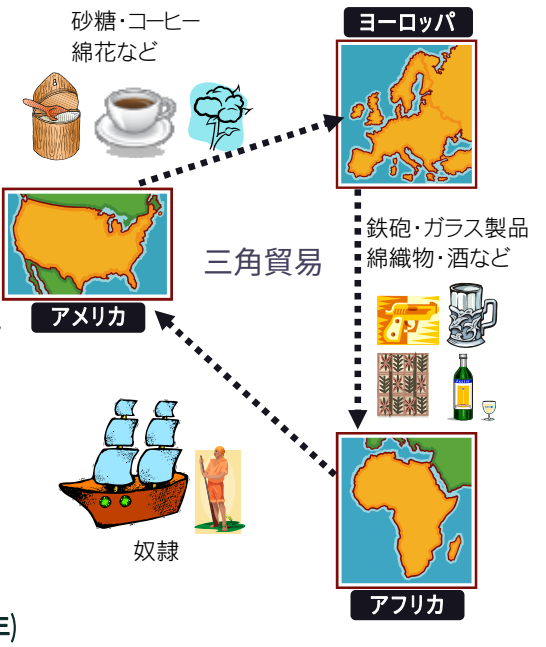
　アメリカに渡った黒人奴隷は大農園で働かされました。奴隷の労働で栽培されたサトウキビから砂糖が作られ、コーヒー豆などと共にヨーロッパに運ばれました。こうして、ヨーロッパ人の多くが、18世紀以降、砂糖を入れたコーヒーを日常的に味わえるようになったのです。アメリカ合衆国の南部では、黒人奴隷は綿花畑で働かされました。安い綿花が大量にイギリスに輸出され、工場で綿の布に加工されて輸出品の花形となりました。

奴隷貿易のしくみ

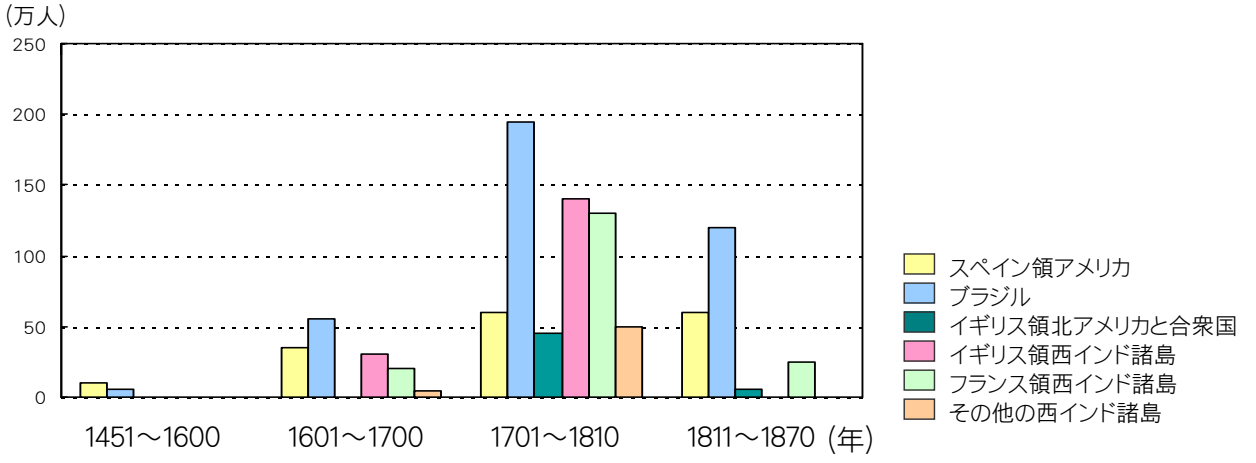
　奴隷貿易は、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカを結ぶ三角貿易でした。
①ヨーロッパの奴隷商人が、アフリカで奴隷を買う。
②その奴隷をアメリカで売って別の商品に替える。
③その商品をヨーロッパで売る。
　これが三角貿易です。

　この奴隷貿易は産業革命以降に廃止されますが、この三角貿易によりヨーロッパでは資本主義経済が発展していきました。またアメリカでは商業資本家の台頭がみられ、北アメリカの独立革命につながります。反面、奴隷貿易はアフリカに大きな打撃を与えました。奴隷の大多数が働き盛りの男性だったこともありアフリカ諸国は莫大な人的資源が略奪され労働力不足に陥ります。また家族が崩壊していきました。その結果、生産活動が荒廃、アフリカ社会は停滞しました。

　このことが、現在にまで深い影を落とし、貧困や飢餓などの原因のひとつになっています。

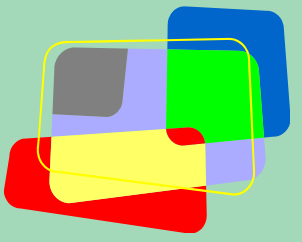


アメリカ大陸各地の推定奴隷輸入数の推移（1451～1870年）



第4章

そして未来へ



世界を変えるスピーチ

地球は今、様々な課題を抱えています。
あなたが今、一番気になる課題は何ですか?

1 みなさんは、「グローバルイシュー（地球的課題）」ということばを聞いたことがありますか?
原因が特定の地域だけでなく地球全体に関係している、深刻化すれば地球全体に影響がある、解決には地球全体の長期的な協力が必要である…そんな課題を「グローバルイシュー」と呼びます。
具体的にどんな課題があると思いますか? グループでできるだけたくさん模造紙に書き出してみましょう。

2 それぞれのグループが書き出した課題を発表し、みんなで共有しましょう。

3 今みんなで出し合った課題の中で、あなたが一番気になる課題は何ですか?
グループで話し合って、1つ選んでみましょう。
また、その課題について世界はどういう状況なのか、日本はどういう状況なのか、調べてみましょう。

4 さて、グループで選んだ課題を解決するための会議が開催されることになり、5分間のスピーチをすることになりました。なぜその課題に関心があるのか、その課題についてどんなことを思っているのか、その課題を解決するためにどうすればいいと思うか…などを盛り込んで、スピーチの原稿をグループのみんなでつくってみましょう。

5 では、会議の会場を想定して、実際にスピーチをしてみましょう。

6 ここに、「伝説のスピーチ」と言われている12歳の少女のスピーチがあります。この少女は、カナダに住む日系4世のセヴァン・カリス=スズキ。遊ぶことが大好きなふつうの女の子です。そのふつうの女の子が、世界中のおとなたちを感動させたスピーチです。聞いてみてください。（P.29〜31）

7 スピーチをしてみてどうでしたか?
他のグループのスピーチや「伝説のスピーチ」を聞いてどんなことを感じましたか?
感想を話し合ってみましょう。

P.27の解説です。

地球の課題を知り、自分自身の課題としてその解決について考えてみよう。

グローバルイシュー（地球的課題）と持続可能な社会

「**グローバルイシュー**」には様々な課題が含まれますが、大きく「人権」と「環境」の2つに分けられます。例えば、1992年ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミットで採択された、21世紀に向けた持続可能な開発を実現するための行動計画『**アジェンダ21**』では、貧困、人口問題、健康と環境、人間居住、大気保全、森林減少、砂漠と干ばつ、生物多様性の保全などの課題をとりあげています。また、2000年の国連ミレニアム・サミットで採択された**ミレニアム開発目標**では、2015年までに達成すべき目標として下記の8つの項目を掲げ、189の加盟国が公約しました。

それらに掲げられているそれぞれの課題は、「貧困の問題が紛争につながる」「紛争がさらなる貧困を生みだす」「紛争は最大の環境破壊である」「環境が破壊されれば、ますます貧困になる」といったようにつながっており、原因にも結果にもなり得る悪循環をつくりだしています。さらに、地域における課題、たとえば「多文化共生」などの課題も地球の課題と共通する部分が多く、つきつめれば同じ原因で問題が起こっていたりします。

「**持続可能な社会**」とは、「持続可能な開発」、つまり、次世代のニーズを満たす可能性を損なわないで環境を利用し、現在の世代のニーズを満たす開発が行われる社会のことを言います。グローバルイシューを解決しない社会は、持続「不可能」な社会なのです。

ミレニアム開発目標（ＭＤｓ）

「今日われわれが直面する主たる課題は、グローバリゼーションが世界のすべての人々にとって前向きの力となることを確保することである」とする国連ミレニアム宣言では、国際社会の支援を必要とする喫緊の課題に対する具体的数値目標として、8の目標、21のターゲット、59の指標を掲げています。

● **貧困と飢餓をなくそう！（極度の貧困と飢餓の撲滅）**

地球上では、5人に1人が1日1ドル未満の所得で生活をし、7人に1人が慢性的な飢えに苦しんでいます。また、もっとも裕福な1%の人々が、もっとも貧しい57%の人々と同じだけの所得を得ています。所得貧困により、十分な栄養を得られない、適切な教育や保健医療を受けられない、安定した職を得られないという困難に多くの人々が苦しんでいるのです。

● **小学校に通えるようにしよう！（普遍的初等教育の達成）**

1億1,500万人の子どもが学校に通っておらず、多くは南アジアとサハラ以南アフリカに住んでいます。途上国では5人に1人が学校に通っていないことになり、その5分の3は女の子です。また、世界中の成人のうち6人に1人が読み書きできません。その数は、8億7,600万人で、その3分の2は女性です。

● **男女の差をなくそう！（ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上）**

教育を受けていない母親から生まれた子どもは、教育を受けている母親から生まれた子どもに比べ、栄養不良や5歳未満で死亡する割合が2倍になるというデータがあります。また、教育を受けた母親の子どもの就学率も高くなっています。

● **赤ちゃんを守ろう!（乳幼児死亡率の削減）**

2002年、1,000人の子どものうち5歳未満で亡くなった子どもの数は、先進国では7人、南アジアでは97人、サハラ以南のアフリカでは174人に上ります。その背景には、貧困による不十分な食糧、不衛生な水、不公平な医療サービスが挙げられるほか、紛争や災害などで抵抗力の弱い子どもたちが犠牲となっているのです。

● **お母さんを守ろう！（妊産婦の健康の改善）**

51万5,000件に上る妊産婦の死亡の99%は途上国で起こっています。先進国では、2,900人に1人の妊産婦死亡率がサハラ以南アフリカでは13人に1人です。

● **病気をふせごう！（ＨＩＶ／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止）**

ＨＩＶ感染者の90%以上が途上国の人で、サハラ以南アフリカは感染者全体の70%を占めています。毎年5億人がマラリアに感染し、100万人以上が死亡しています。このうち90%はサハラ以南アフリカに住んでいます。

● **くらしを良くしよう！（環境の持続可能性の確保）**

世界の森林は、2000年までの10年間で日本の国土面積の2.5倍にあたる約9,400万ヘクタールが減少しました。そのうちの96%がアフリカと南米の熱帯林です。エネルギーの消費量は、世界の上位10カ国が全体の65%を占めており、そのほとんどが先進国です。世界の10億人以上が安全な水を利用できずにいます。下水道などの基本的な衛生施設を利用できない人は26億人にのぼります。

● **世界のみんなで助け合おう！（開発のためのグローバル・パートナーシップの推進）**

ミレニアム開発目標の達成には世界的な協力体制の下での取り組みが必要です。もはや開発は、国連や政府やＮＧＯだけが取り組むものではありません。世界中の人々が協力しなければいけないのです。

この星をこれ以上こわし続けないで

～12歳の少女が地球サミットで語った伝説のスピーチ～

こんにちは、セヴァン・スズキです。エコを代表してお話します。
エコというのは、子ども環境運動（エンヴァイロンメンタル・チルドレンズ・オーガニゼーション）の略です。
カナダの12歳から13歳の子どもたちの集まりで、今の世界を変えるためにがんばっています。
あなたたち大人のみなさんにも、ぜひ生き方を変えていただくようお願いするために、
自分たちで費用をためて、カナダからブラジルまで1万キロの旅をしてきました。

今日の私の話には、ウラもオモテもありません。
なぜって、私が環境運動をしているのは、私自身の未来のため。
自分の未来を失うことは、選挙で負けたり、株で損したりするのとはわけが違うんですから。
私がここに立って話をしているのは、未来に生きる子どもたちのためです。
世界中の飢えに苦しむ子どもたちのためです。
そして、もう行くところもなく、死に絶えようとしている無数の動物たちのためです。

太陽のもとにでるのが、私はこわい。オゾン層に穴があいたから。
呼吸をすることさえこわい。空気にどんな毒が入っているかもしれないから。

父とよくバンクーバーで釣りをしたものです。数年前に、体中がんでおかされた魚に出会うまで。
そして今、動物や植物たちが毎日のように絶滅していくのを、私たちは耳にします。
それらは、もう永遠にもどってはこないんです。

私の世代には、夢があります。
いつか野生の動物たちの群れや、たくさんの鳥や蝶が舞うジャングルを見ることです。
でも、私の子どもたちの世代は、もうそんな夢をもつこともできなくなるのではないか？
あなたたちは、私ぐらいの歳のときに、そんなことを心配したことがありますか。

こんな大変なことが、ものすごいいきおいで起こっているのに、私たち人間ときたら、
まるでまだまだ余裕があるようなのんきな顔をしています。
まだ子どもの私には、この危機を救うのに、何をしたらいいのかはっきりわかりません。
でも、あなたたち大人にも知ってほしいんです。あなたたちもよい解決法なんて、もっていないっていうことを。
オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。
死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、あなたは知らないでしょう。
絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。
そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。

どうやって直すのかわからないものをこわしつづけるのは、もうやめてください。

ここでは、あなたたちは政府とか企業とか団体とかの代表でしょう。
あるいは、報道関係者か政治家かもしれない。
でもほんとうは、あなたたちも、だれかの母親であり、父親であり、姉妹であり、兄弟であり、おばであり、
おじなんです。そして、あなたたちのだれもが、だれかの子どもなんです。

私はまだ子どもですが、ここにいる私たちみんなが同じ大きな家族の一員であることを知っています。
そうです。50億人以上の人間からなる大家族。
いいえ、じつは3千万種類の生物からなる大家族です。
国境や各国の政府がどんなに私たちを分けへだてようとしても、このことは変えようがありません。
私は子どもですが、みんながこの大家族の一員であり、ひとつの目標に向けて心をひとつにして
行動しなければならないことを知っています。

私は怒っています。
でも、自分を見失ってはいません。
私はこわい。
でも、自分の気持ちを世界中に伝えることを、私はおそれません。

私の国でのむだづかいはたいへんなものです。
買っては捨て、また買っては捨てています。
それでも物を浪費しつづける北の国々は、南の国々と富をわかちあおうとはしません。
物がありあまっているのに、私たちは自分の富を、そのほんの少しでも手ばなすのがこわいんです。
カナダの私たちは、十分な食べものと水と住まいを持つめぐまれた生活をしています。
時計、自転車、コンピュータ、テレビ、私たちの持っているものを数えあげたら何日もかかることでしょう。

2日前ここブラジルで、家のないストリートチルドレンと出会い、私たちはショックを受けました。
ひとりの子どもが私たちにこう言いました。
「ぼくが金持ちだったらなぁ。もしそうなら、家のない子すべてに、食べものと、着るものと、薬と、住む場所と、
やさしさと愛情をあげるのに。」
家もなにもないひとりの子どもが、わかちあうことを考えているというのに、
すべてを持っている私たちがこんなに欲が深いのは、いったいどうしてなんでしょう。
これらのめぐまれない子どもたちが、私と同じぐらいの歳だということが、私の頭をはなれません。
どこに生れついたかによって、こんなにも人生がちがってしまう。
私がリオの貧民街に住む子どものひとりだったかもしれないんです。
ソマリアの飢えた子どもだったかも、中東の戦争で犠牲になるか、
インドで物乞いしていたかもしれないんです。

もし、戦争のために使われているお金をぜんぶ、貧しさと環境問題を解決するために使えば、
この地球はすばらしい星になるでしょう。
私はまだ子どもだけど、そのことを知っています。
学校で、いや、幼稚園でさえ、あなたたち大人は私たち子どもに、世の中でどうふるまうかを教えてくれます。
たとえば、
争いをしないこと
話し合いで解決すること
他人を尊重すること
ちらかしたら自分でかたづけること
ほかの生き物をむやみに傷つけないこと
わかちあうこと
そして欲ばらないこと

ならばなぜ、あなたたちは、私たちにするなということをしているんですか。

なぜあなたたちが今、こうした会議に出席しているのか、どうか忘れないでください。
そしていったいだれのためにやっているのか。
それはあなたたちの子ども、つまり私たちのためです。
みなさんはこうした会議で、私たちがどんな世界に育ち、生きていくのかを決めているんです。

親たちはよく「だいじょうぶ。すべてうまくいくよ」といって子どもたちをなぐさめるものです。
あるいは、「できるだけのことはしてるから」とか、「この世の終わりじゃあるまいし」とか。
しかし大人たちは、もうこんななぐさめの言葉さえつかうことができなくなっているようです。

おききしますが、
私たち子どもの未来を真剣に考えたことがありますか。
父はいつも私に不言実行、つまり、
なにを言うかではなく、なにをするかでその人の値打ちが決まる、といいます。
しかし、あなたたち大人がやっていることのせいで、私たちは泣いています。
あなたたちはいつも私たちを愛しているといいます。
しかし、いわせてください。

もしそのことばがほんとうなら、どうか、ほんとうだということを行動でしめしてください。

最後まで私の話をきいてくださってありがとうございました。

『あなたが世界を変える日〜12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ』
セヴァン・カリス＝スズキ／著　ナマケモノ倶楽部／編・訳　学陽書房発行

地球サミット

この伝説のスピーチは、1992年6月11日、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された国連の地球サミット（環境と開発に関する国際連合会議）の会場で、世界の指導者たちを前に行われました。

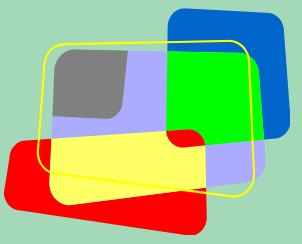
リオの地球サミットは、1992年6月3日〜14日開催され、約180の国と地域の代表、国連機関、約8,000のNGO（非政府組織）が参加、延べ4万人を超える人々が集まった史上最大規模で、その後の様々な活動に大きな影響を与える会議となりました。

この会議では、持続可能な開発に向けた地球規模の新たなパートナーシップを構築するための「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言（リオ宣言）」とその行動計画「アジェンダ21」が合意されました。また、「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」が提起されました。会議開催後、「生物多様性」といった用語が一般にも知られるようになり、さまざまな地球環境問題や生態系、絶滅危惧種等に対する一般の関心が高まるきっかけになりました。

国際連合による環境や開発を議題とする会議は約10年ごとに開催されており、2002年に南アフリカ共和国のヨハネスブルグで開催された「持続可能な開発に関する世界首脳会議（環境開発サミット）」は第2回地球サミットとも呼ばれています。

なお、この第2回地球サミットをきっかけに日本の提案により、2005年からの10年間を「持続可能な開発のための教育の10年」とすることが決定されました。これは、「環境教育」「開発教育」「人権・平和教育」を3つの柱とし、「共生と公正を基本とした循環型の社会づくり」を目的としています。

参 考 資 料



目で見るサントメ・プリンシペ

2つの黒い星は、サントメ島とプリンシペ島を表し、黒人国家であることと、その協力を象徴しています。ほかの3色は森林、豊かさ、独立を表しています。

●人口●

158千人（2007年）

127,967千人（2007年）

●面積●

960㎢
（東京都の約半分）

377,887㎢

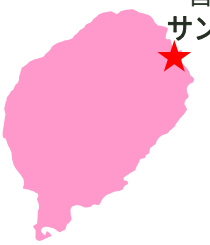
●言語●

ポルトガル語

●宗教●

キリスト教

首都
サントメ



●気候帯●

熱帯モンスーン気候

●民族●

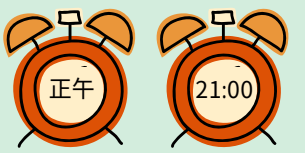
バンツー系および
ポルトガル人との混血

●通貨●

ドブラ
（13,951ドブラ=1米ドル
【2007年平均】）

●日本との時差●

−9時間



◆国旗：『世界の国旗』吹浦忠正監修（Gakken）◆面積・首都・民族・通貨・言語・：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆人口：世界子供白書2009（ユニセフ） ◆日本の面積：総務省統計局「日本の統計」 ◆気候帯：外務省ウェブサイト「探検しよう！みんなの地球」 ◆日本との時差：世界の国一覧表（財団法人世界の動き社）

●主要産業●

農業（カカオ、コプラ、バナナ）

● 日本との貿易主要品目 ●

カカオ豆、コーヒー等

自動車、自動二輪車等

●一人あたりのGNI●

870米ドル（2007年）

37,670米ドル（2007年）

●在留邦人数●

0人（2007年10月現在）

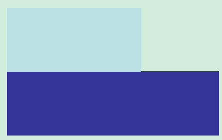
●在日サントメ・プリンシペ人数●

0人（2007年12月末現在）

●出生時の平均余命●

65年

83年



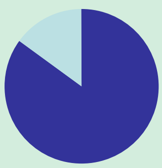
●5歳未満児の死亡率●
（出生1000人あたり）

99人（2007年）

4人（2007年）

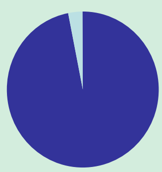
●成人の総識字率●
（2000～2007年）

88%



● 初等教育 純就学/出席率 ●
（2000～2007年）

98%



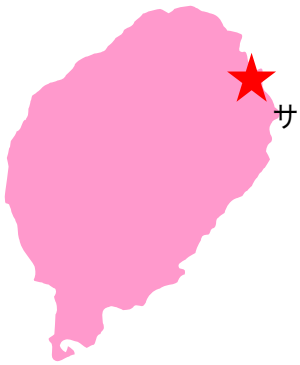
●都市人口の比率●

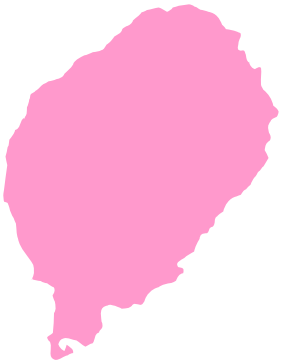
60%（2007年）

66%（2007年）

◆主要産業・日本との貿易主要品目・一人あたりのGNI・在留邦人数・在日サントメ・プリンシペ人数：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・・成人の総識字率・初等教育純就学／出席率：世界子供白書2009（ユニセフ）

サントメ・プリンシペ地図





アフリカ

参考文献・データ等の出典

- 外務省「各国地域情勢」
  http://www.mofa.go.jp/mofaj/
- 外務省「探検しよう！ みんなの地球」
  http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html
- 総務省統計局「日本の統計」
  http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm
- 財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2009」
  http://www.unicef.or.jp/library/index.html
- 「世界の国旗」（学習研究社 1996）
- 「世界の国旗図鑑」 http://www.sarago.co.jp/idxrgon.html
- 世界料理マップhttp://e-food.jp/map/nation/saotome.html
- 「植物園へようこそ！」
  http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/BotanicalGarden/BotanicalGarden-F.html
- 世界 切手 国めぐり http://www.stamaga.net/stamaga/stamp_1142.html
- 台湾外交部ウェブサイト
  http://www.mofa.gov.tw/webapp/ct.asp?xItem=11624&CtNode=1143&mp=1
- 帝国書院 世界各国の姿 http://www.teikokushoin.co.jp/japan_world/world/72.html
- 日本財団図書館 アフリカにおける海洋放置船舶の実態
  http://nippon.zaidan.info/seikabutsu/2001/00828/contents/00008.htm
- NHK高校講座 世界史ライブラリー アフリカ史（2）近世・現代
  奴隷貿易から植民地支配まで 講師：中部大学教授 宮本 正興
  http://www.nhk.or.jp/kokokoza/library/2008/tv/sekaishi/archive/resume030.html
- 「世界の国旗」（学習研究社 1996）
- 『観光コースではないアフリカ大陸西海岸』 桜井和馬 著 2004年 高文社
- 『近代世界と奴隷制：大西洋システムの中で』
  人文書院、1995年、池本幸三／布留川正博／下山晃 共著
- アフリカを知る辞典 著者／訳者名：伊谷純一郎／（ほか）1999年09月

ご協力いただいた方たち 【敬称略】

- 久世治靖
- 蟹江正文（東海市立農業センター所長）

2009年度教材作成チーム

安城市　長久手町
東海市　甚目寺町
東海市国際交流協会　東郷町
みよし市

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
財団法人 愛知県国際交流協会

世界の国を**知る** 世界の国から**学ぶ**

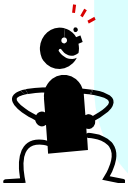
わたしたちの**地球**と**未来**

サントメ・プリンシペ共和国

2010年3月

発行編集 財団法人 愛知県国際交流協会
〒460－0001
名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ
TEL：052-961-8746　FAX：052-961-8045
E-mail：koryu@aia.pref.aichi.jp
URL：http://www2.aia.pref.aichi.jp

印刷 トッパン・フォームズ株式会社



ﺗﺤﻤﻴﻞ ﻛﺘﺎﺏ ﻣﺠﺎﻧﻲ ﻣﻦ ﻣﻮﻗﻊ ﺍﻟﻤﻨﺎﻫﺞ ﺍﻟﺴﻌﻮﺩﻳﺔ